平成27年度

指定管理者評価シート

1　基本情報

施設名	千葉市ことぶき大学校	指定管理者	千葉市ハーモニープラザ管理運営共同事業体 （社会福祉法人千葉市社会福祉事業団）
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	保健福祉局高齢障害部高齢福祉課

2　管理運営の実績

（1）主な実施事業

①指定管理事業

事業名	実施時期	事業の概要
専門講座	平成27年4月～平成28年3月（全28回）	福祉健康学科・園芸学科・美術学科・陶芸学科
地域活動実践講座	平成27年4月～平成28年3月（全12回）	地域活動・ボランティア活動のきっかけを作る講義を実施し、活動の体験の機会を設定するなど、学生の地域活動の推進を図る。
多世代交流講座	（陶芸） 7月23日・24日、8月20日・27日（4日間） （園芸）10月25日（午前と午後で各1回実	陶芸・園芸を通じて市内の小学校児童とことぶき大学校の学生が交流を図る。
公開講座	（夏期） 8月17日～28日（全12回） （冬期） 2月2日・5日（全2回）	市内在住の市民を対象に美術・健康・園芸等の講座を開催する。

（2）利用状況

①学生数　（平成28年3月31日現在）

H27年度 (A)	H26年度 (B)	前年度比 (A)/(B)	H27目標値 (C)	達成率 (A)/(C)
167	144	116.0%	210	79.5%

②定員に対する学生数の割合

H27年度 (a)	H26年度 (b)	対前年度増減 (a)−(b)	H27目標値 (c)	対目標値増減 (a)−(c)
79.5%	68.6%	10.9%	100.0%	−20.5%

※　定員数　（福祉健康３＋園芸２＋美術１＋陶芸1クラス）×１クラス30名　＝　210名

※　参考

①学生数（平成27年4月6日時点）（入学者）
186人

②定員に対する学生数の割合
88.6%

（3）収支状況

①収入実績（千円）

	決算額 (A)	計画額 (B)	計画比 (A)/(B)	備考
指定管理委託料	28,972	28,972	100.0%	その他：前期末支払資金残高
その他	1,489	1,489	—	
合計	30,461	30,461	100.0%	

②支出実績（千円）

	決算額 (a)	計画額 (b)	計画比 (a)/(b)	備考
人件費	8,615	8,994	95.8%	その他：ファイナンスリース債務の返済支出、事業区分間繰入金支出、拠点区分間繰入金支出
事業費	14,320	14,845	96.5%	
事務費	4,870	4,648	104.8%	
その他	1,948	1,974	—	
合計	29,753	30,461	97.7%	

③収支実績（千円）

決算額(ｱ) (A)−(a)	計画額(ｲ) (B)−(b)	対計画額増減 (ｱ)−(ｲ)
708	0	708

（4）指定管理者が行った処分の件数	＜処分の状況＞

処分の種別	処分根拠	件数
使用許可	－	－
使用不許可	－	－
使用の制限	－	－

（5）市への不服申立て	＜件数＞　0件 ＜概要＞
（6）情報公開の状況	＜関連文書の公開状況＞

文書名	公開方法（場所）		
	当該施設	市政情報室	左記以外の方法
基本協定書	○	○	―
年次協定書	○	○	―
事業計画書	○	○	―
事業報告書	○	○	―
計算書類	○	○	―
定款、寄付行為、その他これらに類するもの	○	○	千葉市社会福祉事業団Webサイト

＜文書開示申出の状況＞

申出先	開示	不開示	合計
指定管理者	0　件	0　件	0　件
市政情報室（経由）	0　件	0　件	0　件

※　開示決定がなされた事案の概要

※　不開示決定がなされた事案の概要

３　利用者ニーズ・満足度等の把握

（1）指定管理者が行ったアンケート調査の結果

①アンケート調査の実施内容

より良い学校運営を図るため、ことぶき大学校を選んだ理由、学校行事の満足度、教育目標等について学生アンケートを実施した。

ア　調査方法

	実施時期
１学期	平成27年 7月 2日～ 7月17日
２学期	平成27年12月 2日～12月14日
３学期	平成28年 2月17日～ 3月 4日

イ　対象者数、回答者数及び回答率

	対象者数	回答者数	回答率
１学期	181人	168人	92.8%
２学期	170人	153人	90.0%
３学期	167人	154人	92.2%
合計	518人	475人	91.7%

②調査の結果

【１学期】

市内の「学べる施設」の中で、ことぶき大学校を選んだ理由

	回答者数
友人、家族、卒業生などのすすめ	33
通学に便利なため	25
知識や技術が学べる（学習内容に興味がある）	68
その他	37
無回答	5

【２学期】

（１）学校行事について

活用度	十分できた	まあまあできた	あまりできなかった	無回答
大学祭（企画参加）のためのＬＨＲ	35.3%	53.6%	7.2%	3.9%
大学祭（準備）のためのＬＨＲ	39.9%	44.4%	10.5%	5.2%
スポレクについてのＬＨＲ	49.0%	45.1%	3.3%	2.6%
時期	**適切**	**早かった**	**遅かった**	**無回答**
大学祭（企画参加）のためのＬＨＲ	71.24%	14.38%	7.84%	6.54%
大学祭（準備）のためのＬＨＲ	77.12%	5.23%	11.11%	6.54%
スポレクについてのＬＨＲ	90.8%	2.0%	3.3%	3.9%

（２）専門講座について

	手話の基本1・2	施設実習1・2―実習―	身体調整ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ4	障がい者への理解を高める
福祉健康学科　特によかったと思う講座で回答が多かったもの（複数回答）（全11講座）	61.6%	53.4%	53.4%	37.0%

	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答
園芸学科　授業の内容	34.7%	59.2%	4.1%	0.0%	2.0%
美術学科　授業の内容や進み具合	37.50%	43.75%	18.75%	0.0%	0.0%
陶芸学科　授業の内容や進み具合	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%

（３）地域活動実践講座について

	満足	やや満足	やや不満	不満
体験活動報告会について	35.3%	53.6%	2.6%	8.5%

【３学期】

（１）教育目標について

ア　自己の教育	はい	いいえ	無回答・その他
基本的な知識や技能が習得できた	87.7%	7.1%	5.2%
卒業後も学び続けたい	94.2%	1.3%	4.5%
イ　地域や多世代の人との交流	はい	いいえ	無回答・その他
いろいろな活動を通して、多世代(異年齢)の人と触れ合うことができた	92.2%	5.8%	2.0%
ウ　地域社会への参加と仲間づくり	はい	いいえ	無回答・その他
仲間ができた	94.2%	4.5%	1.3%
生きがいができた	79.9%	11.7%	8.4%
エ　地域活動・ボランティア人材育成	はい	いいえ	無回答・その他
地域のことに関心をもつようになった	94.2%	3.9%	1.9%
社会参加の大切さを学んだ	94.8%	2.6%	2.6%
ボランティアが身近に感じられるようになった	92.9%	5.2%	1.9%
卒業後、ボランティア活動に参加したい	95.5%	1.9%	2.6%

（２）ことぶき大学校の満足度について

	とても満足	満足	不満	とても不満	無回答・その他
学生生活の満足度について	42.2%	55.2%	1.3%	0.0%	1.3%
専門講座の満足度について	27.92%	64.94%	5.84%	0.00%	1.30%
地域活動実践講座の満足度について	21.43%	68.18%	7.14%	0.00%	3.25%

③アンケートにより得られた主な意見、苦情とそれへの対応

1 （大学校）（1学期終了後）
入学前に思っていたこと（イメージなど）と今感じていることとに違いはありますか。
あり：58.3%、なし：41.1%、無回答：0.6%
→ 「入学前に思っていたこと（イメージなど）と今感じていることとの違い」については、入学後のギャップが少なくなるよう、入学案内・パンフレット・学校説明会等で案内をしていく。

2 （ボランティア体験）（3学期末）
意見：より参加しやすい実施方法にしてもらえるとよい。
→ 次年度の計画は実施日（回数）・受け入れ人数ともに拡大するよう努める。

3 （学生生活・専門講座・地域活動実践講座）（3学期末）
前記②の3学期の（2）参照）では9割以上の学生が学生生活・専門講座に満足、約9割の学生が地域活動実践講座に満足と回答している。
→ 概ね満足されていると捉えている。

4 （園芸学科の専門講座）（3学期末）
意見：割り当てられた作業をしているとき、他の作物の植付や管理方法などの説明を聞けないことがあったので、とても残念だった。
→ 授業の進行方法の改善に努めたい

【その他の対応】

・ 1・2学期の専門講座の満足度については、各学期終了ごとに各学科講師と学科担当にフィードバックし、不満の原因究明や解消を図った。
・ ことぶき大学校の教育目標を達成するために、対応可能なものについては今後の運営に生かしていく。

（2）市に寄せられた意見、苦情

①意見、苦情の収集方法	市ホームページに所管課の連絡先（電話番号、Eメールアドレス）を明示。 市への意見や苦情は、電話、Eメール、市長への手紙等で行われる。
②意見、苦情の数	1件
③主な意見、苦情とそれへの対応	H27年度に入学したことぶき大学校の学生から市長への手紙（平成27年4月１１日付）を受け付けた。 【意見】 ことぶき大学校の学生へ配布された『学生生活のしおり　平成２７年度』において、授業料の納付期限が記載内容と実際の対応とで異なる等の誤った記載がある。また、見づらいほか、必要なことが書かれていない。 【対応】 『学生生活のしおり　平成２７年度』において誤った記載や説明不足と思われる記述があったことについて謝罪した。いただいたご意見を指定管理者とともにH28年度以降の『学生生活のしおり』に反映していくとともに、ことぶき大学校におけるサービス向上に努めることとした。

４　指定管理者による自己評価

・　事業計画に基づき、適正に事業を実施した。
・　年度末のアンケート結果において、約9割の学生が各教育目標に基づく質問に「はい」と回答していることから、おおむね教育目標は達成できたと考える。
・　地域活動・ボランティア活動については、ボランティア体験における参加者数も平成27年度参加者は274名（平成26年度250名）で24名増加し、年々活動参加意欲が向上している。特にボランティア相談件数の増加は特に顕著であり、平成26年度は46件であったが平成27年度は69件で23件増加した。ボランティア相談の件数は6月・7月に多いが、これは5月・6月に実施している区別活動団体交流会の効果と夏休みの活動体験に向けての学生の行動力がなお一層積極的になったものと思われる。また、グループミーティング等で「ボランティアをやりたい」と言って入学してきた学生が多くなったことや、創造コース（陶芸学科・美術学科）の入学者のボランティア活動への理解度が増してきたことなどを考えると、平成24年度から実施してきた地域活動実践講座の成果が徐々に現われてきたと考えられる。
・　卒業生アンケートで地域活動・ボランティア活動に「現在、継続的に参加している」「たまに、参加することがある」と答えた人の割合が前年度卒業生では73％となっており、大学校での学びが卒業後のボランティアにつながっていると認識している。
・　学生定員数の充足に向けて、初めて体験教室を実施する（全6講座）などオープンキャンパスを充実させた結果、平成27年度に実施した平成28年度入学者の募集では、指定管理者の選定の関係で前年度よりも広報期間が限定・短縮されていた中で、平成26年度に実施した平成27年度入学者の募集と同程度の学生を確保することができた。

５　市による評価

評価 ※1	A	所見	・　良好な管理状況であると言える。 ・　ボランティア活動等への支援として、ボランティア相談窓口における相談の受付、学生への声掛け、ボランティアの体験参加等の機会の増設等の取組みを行っている。その効果は、ボランティア相談窓口における相談件数の増加、ボランティアの体験参加等の参加者数の増加、学生へのアンケートにおいてボランティアに肯定的な回答（卒業後ボランティア活動を行いたい等）が9割以上となる等の結果として現われていると考える。このことは、ことぶき大学校の教育目標である「地域社会への参加と仲間づくりの促進」「ボランティア人材の育成」の達成に資するものであり、高く評価する。 ・　定員に対する学生数の割合は平成26年度末の学生数については68．6％であったが平成27年度末については79．5％へ上昇したことは評価する。だが、依然として定員に約20％の空きが出ていることから、引き続き、カリキュラムの見直し、周知方法の改善等、入学者数の増加及び入学後の退学者数の減少に努める必要がある。

履行状況の確認

確　認　事　項		履行状況 ※2	備　　考
（1）市民の平等な利用の確保、施設の適正な管理、その他市長が定める基準			
関係法令等の遵守	情報公開	2	千葉市社会福祉事業団で規定する情報公開規程に基づいて適正に実施している。
	個人情報保護	2	個人情報保護法及び千葉市個人情報保護条例の趣旨に沿って『個人情報に関する基本方針』『個人情報保護規程』を定め、これに基づき個人情報を取り扱っている。 また、マイナンバー法に基づくマイナンバーの取扱いの開始に伴い、平成28年1月1日付けで『特定個人情報保護規程』を制定し、マイナンバーを適切に取り扱うための事項を規定した。
モニタリング等の実施	アンケートの実施	2	年3回在校生を対象としたアンケートを実施するとともに年に1回卒業生を対象としたアンケートを実施している。また、ボランティア体験、多世代交流講座及び公開講座を実施した際に、受講座に対してアンケートを実施している。
	自己評価の実施	2	提案内容については、おおむね達成しており、自己評価は妥当である。
	苦情解決体制	2	苦情解決制度を設けている。「苦情解決の受付マニュアル」を定め、これに基づき責任者及び受付担当者を定めている。
	利用者からの苦情・意見等への対応	2	「苦情解決の受付マニュアル」に基づき、責任者及び受付担当者が対応している。

リスク管理	危機管理の対応	2	施設内で予想される事故、事故を防ぐポイント、事故が発生した場合の対応方法・対応者等を「緊急対応マニュアル」として定めている。
	賠償対応・保険加入	2	施設内の事故に対して施設賠償保険に加入し、適切に対応できるよう努めている。
市内業者の育成	市内業者の登用	2	資材の購入等において、市内業者の利用に努めている。
市内雇用・継続雇用への配慮、障害者雇用の確保、男女共同参画の推進	市内雇用の確保	2	非常勤職員は、市内在住者を雇用している。
	継続雇用の確保	2	本人の希望で退職する場合を除き、業務に従事している者は、引き続き雇用している。
	障害者雇用	2	障害者雇用に努めてはいるものの、機会がなく雇用には至っていない。
	男女の均等な機会と待遇の確保	2	男女の均等な機会と待遇の確保に努めている。
複合施設の管理協力体制の構築	ハーモニープラザ内の他施設との管理協力体制の構築	2	ハーモニープラザを構成する各施設で管理運営共同事業体協会、管理運営会議及び各種委員会を開催し、各施設間の管理協力体制を構築している。
（2）施設の効用の発揮、施設管理能力			
利用者サービスの向上	休館日の利用	2	ことぶき大学校が休講となる日には、プラザ内施設の他事業で空き教室を利用できるよう有効活用している。
利用促進の方策	施設ホームページの作成	2	ホームページにおいて、イベント告知や授業の様子などをタイミングよく発信することに努めた。
	事業の広報活動	2	〇情報発信 パンフレット：2度リニューアルして発行し、約380か所で前年比＋3，900部の10，800部を配布した。 入学案内冊子：約280か所で前年比－155部の約6140部を配布した。 〇PR活動 オープンキャンパスとして学校説明会や授業。クラブの見学会を実施したほか、新規のイベントとして体験教室を行い、大学校のPRに努めた。 〇大学の入学者募集の時期に限らず、年間を通じてことぶき大学校を広報することに努めている。
職員の配置・能力向上	職員配置	2	計画通り適正に職員を配置している。
	施設内研修の実施	2	講師を招いて研修を行ったほか、学科の授業やホームルームについて、自分の担当するもの以外のものを見学した。（平成27年度は聴覚障害のある方が在籍されており、その方に対する通訳者の対応等も見学した。）
	施設外研修の実施	2	実務に必要な知識の習得のため、施設外で行われた研修に参加した。
管理業務の実施	備品管理	2	備品管理簿を作成するとともに、所在や状態を確認している。

事業の実施	専門講座の実施	2	年間カリキュラムに基づいて実施し、総合的・系統的な学習（講義、実技及び校外学習）の充実に努めた。 年間カリキュラムのH26年度からの主な変更点：福祉健康学科では、健康体操等の福祉関連の4コマに代えて、地域福祉の概要を学ぶ等地域福祉関連の4コマを実施した。
	多世代交流講座の実施	2	小学生とことぶき大学校の学生との交流を図ることを目的として、陶芸講座及び園芸講座を実施し、計110人が参加した。
	地域活動・ボランティア活動の支援	3	・学生が卒業後に地域活動へ参加することを目指し、地域の現状と課題に対する全12回の実践的学習や活動体験を行い、延べ1，238人が参加した。 ・在校生アンケートの回答では、「地域活動やボランティアが身近に感じられるようになった」が92．0%であったほか、「卒業後、地域活動やボランティア活動に参加したい」が95．5%であった。 ・ボランティア相談窓口への相談件数が、前年度比＋23件の69件であった。
	学生自治会活動の支援 （大学祭）	2	学生らが自主的に組織する学生自治会が主体となって実施する大学祭を支援した。
	学生自治会活動の支援 （クラブ活動）	2	ボランティアの体験参加、見学、研修会、講習会等を18回開催し、平成26年度比＋24人の延べ274人が参加した。
	学生自治会活動の支援 （スポーツ・レクリエーション大会）	2	学生の健康の維持と交流の促進を目的に、学生自治会が主催するスポーツ・レクリエーション大会の開催（於：青葉の森公園陸上競技場）を支援した。
	ハーモニープラザフェスタへの参加	2	ハーモニープラザフェスタに「ことぶき大学校大学祭」として参加してことぶき大学校をPRし、利用者の拡大を図った。
自主事業の実施	公開講座の実施	2	計14講座（夏：12講座、冬：2講座）を開講し、延べ419人（学生：128人、一般市民291人）が参加した。
緊急時の対応	避難訓練の実施	2	ことぶき大学校を含めたハーモニープラザ全体で、年度中に2回防災訓練を実施した。
	マニュアルの整備	2	「緊急対応マニュアル」において、事故が発生した場合及び災害（地震、火事、風水害）が発生した場合の対応等について定め、対応できるようにしている。
	緊急時の体制	2	「緊急対応マニュアル」に基づき、緊急時の体制を整備している。
地域との連携	地域住民との交流	2	ハーモニープラザフェスタに「ことぶき大学校大学祭」として参加する等、地域住民との交流を促進する取り組みを行っている。
（3）管理経費の縮減			
支出見積の妥当性	計画通りに予算が執行されているか	2	概ね計画通りに予算が執行されている。

合計	69
平均	2.03

※1　評価の基準について

S…仕様、事業計画を超える実績・成果が認められるなど、管理運営が特に良好に行われていた。

A…概ね仕様、事業計画通りの実績・成果が認められ、管理運営が良好に行われていた。

B…仕様、事業計画通りの実績・成果が認められず、管理運営に関して改善を要する事項があった。

※2　履行状況について

3点・・・仕様、提案を上回る実績・成果があった

2点・・・仕様、提案どおりの実績・成果があった

1点・・・仕様、提案どおりの管理運営が行われなかった

６　保健福祉局指定管理者選定評価委員会の意見
・財務状況については、本委員会に提出された財務諸表等の資料を確認した範囲では、倒産や撤退等のリスクは認められず、特段の問題はないと認められる。 ・管理運営については、概ね適切に管理が行われていると認められる。特に、学生の満足度や、障害者の学生への対応については評価できる。 一方、学生の定員充足に向けては今後も引き続き努力をお願いしたい。